

九条の会

2008・7・4

第110号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

9条学ぶことは未来への希望もつこと

岐阜で第5回セミナー

「九条の会」は6月21日、第5回憲法セミナー「9条で平和をつくる——メディア報道と憲法問題」を岐阜市で開き、会場を埋めつくす650人が参加しました。

セミナーではまず、「九条の会・岐阜県連絡会」連絡責任者の吉田千秋さんがあいさつ。つづいて、毎日新聞記者の明珍美紀さん、「九条の会」よびかけ人で劇作家の井上ひさしさんが講演しました。

明珍さんは、「九条を維持することを望む世論が多数になっているなかで、市民と政府とメディアの間にはかい離がある」ことを指摘し、「メディアの内側から声をあげ、平和と憲法について書いていきたい」と語りました。

井上さんは、毒ガス禁止などを決めた1899年の第1回ハーグ国際会議から2回の世界大戦を経て、1999年のハーグ国際市民平和会議では日本国憲法9条について世界の注目が集まったことを紹介。ユーモアたっぷりに、「その本家本元がなくなったらどうするか」と問いかけ、「他人の都合で死ぬ

「九条の会」第6回憲法セミナー

- ◇人間らしく生きる—憲法第9条と25条
- ◇とき 7月12日 午後1時30分
- ◇ところ 宮崎市民文化ホール
- ◇お話 暉峻淑子（埼玉大学名誉教授）
／湯浅誠（「もやい」事務局長）
／大江健三郎（作家、「九条の会」よびかけ人）
- ◇参加費 1000円（当日会場で）
- ◇申し込み ファックス、メール、電話等で事務局にお名前・住所・電話番号を。参加券を送ります。

「九条の会」事務局学習会

- ◇テーマ 名古屋高裁判決と派兵恒久法
- ◇9月13日（土）午後1時30分～4時
- ◇会場 星陵会館（地下鉄・永田町下車）
- ◇講師 小林武（愛知大学教授）／半田滋（東京新聞編集委員）／渡辺治（一橋大学教授）
- ◇参加費 1000円

のはやめる。死ぬのは自分で決める。それが九条を大切にすることの意味」と述べ

した。

このあと明珍さんがメディアの可能性などについて井上さんにミニ・インタビューしました。さらに休憩後、会場から出された質問に2人はていねいに答えました。

感動や決意をこめた感想(要旨)

▼とってもユーモアのあるよく分かるお話でした。9条は理想ではなく現実のものなのですね。9条を変えさせないのは、日本国民の力でしかできません。となりの人に話かけ、9条を守る人を増やしていきたいと思います。(54歳・女・教員)

▼「九条の会」を仲間とやっているが、なかなか地域の人に広がらないもどかしさがある。しかし、今日、大勢の人に会い、また頑張っていこうと思う。

明珍氏、井上氏の話聞いて(今まで長生きしたくないと思っていたが)、もう少し人生とつきあっていこうと思いました。(61歳・女・無職)

▼国民投票＝まで持ち込ませない。そのために「九条の会可児」でがんばっています。雨降りには、散在する民家へビラをまく！私は70歳を超した。社会も自分もよく見えてきた。人生は楽しい。(70歳・女・農業)

▼フリーランスではなく、大手メディアの記者の方が声をあげているということをとっても心強く思いました。テレビや新聞が伝えない庶民の声をもっともっと大きくしていかなければ、と思います。(30歳・女・自営)

▼まずは本当におもしろかった。堅い国際法、国際連帯をこんなにわかりやすく話されたのは初めてです。しかもユーモラスに、きちんと。いろいろな事柄を結びつけ

て世界史的な視野で話され本当に長距離来てよかったでした。ありがとうございます。希望が持てました。(76歳・男・無職)

分野の「会」がつどいやセミナー

【農林水産】 農林水産「九条の会」は6月14日、首都圏のつどいを開き、農民団体、農協や農水省の関係者、学者・研究者ら50人が参加しました。

全国漁協学校講師の山本博史さんが、「こんにちの食糧・農業・環境問題と憲法」と題して報告、中国製ギョーザ中毒事件もあり国産農産物を求める国民の要望が強まり、国際的な穀物情勢は厳しくなっているにもかかわらず、日本では水田減反を強制していることを批判しました。

また、農家の貧困と格差が拡大し息子があとをつげない実態や、食糧不足、平和外交を広げる重要性、「九条田んぼ」づくりの経験などが交流されました。

【女性】 女性「九条の会」は6月30日、憲法セミナーを開き130人が参加しました。

渡辺治・一橋大学教授が、安倍政権の改憲強行路線が挫折させた「九条の会」等の運動について述べ、女性「九条の会」のよびかけ人でもある音楽評論家の湯川れい子さんは、長兄の戦死にふれつつ、9条を次代に手渡すことの大切さを強調しました。北川てつさんが歌を披露しました。

参加者は鳴り止まぬ拍手でその感動を表現しましたが、感想文も、「すべてとても充実した内容で、私たちが明日から何をすればよいのかよくわかる集会でした」、「目からウロコが落ちたような感じです。今後更に幅広い国民によびかけ連帯を強めていきたい」といった内容がほとんどでした。